

日本工学会科学技術人材育成コンソーシアム
2022 年度第 2 回コンソーシアム会議 議事録（案）

日 時： 2022 年 7 月 20（水）15 時～16 時 50 分

場 所： Zoom ミーティング

出 席 者：（敬称略）出席者下線

代 表：岸本喜久雄 副代表：荻窪光慈（部会 2 主査）、山本誠（部会 3 主査）

幹 事：白旗弘実（部会 1 主査）

委 員：結城義敬、竹下隆晴、高橋章浩、松村暢彦、佐藤勲、中澤浩介、三田清文、
新宮清志、薦森秀夫、中村大介、井上裕嗣、廣瀬壮一

維持員：森田勉、 説明者：浅井徹

オブザーバ：馬場大輔、大坪梓、西尾崇、大槻肇

顧 問：有信睦弘、松瀬貢規

事務局：島田敏男

議 題：（順不同）

1. 2022 年度第 1 回コンソーシアム会議（4/22）議事録確認
2. 各部会報告
3. 話題提供
計測自動制御学会
日本建築学会
4. 2022 年度人材育成コンソーシアム活動の進め方
・第 4 回世界エンジニアリング記念シンポジウムの企画案
5. その他

配布資料：

- 0-1： 2022 年度第 2 回科学技術人材育成コンソーシアム会議 議題表（本紙）
- 0-2： 人材育成コンソーシアム委員名簿
- 1： 前回(2022 年度第 1 回)コンソーシアム会議（2022/4/22）議事録（案）
- 2-1： コンソーシアム情報提供依頼_22 年 6 月
- 2-2： 修正版 2022 コンソーシアム正員学協会 webpage_summary2206
- 3-1： SICE 人材育成の取り組み 話題提供
- 3-2： 新宮清志 日本建築学会子供教育支援資料 211116_2021 年度活動報告
- 4：（参考）第 3 回世界エンジニアリングデー記念シンポジウム案内

議 事：

1. 前回(2022 年度第 1 回)コンソーシアム会議（2022/1/9）議事録確認
資料 1 に基づき前回議事録を確認し、承認された。

2. 各部会報告

1) 部会 1,2 より資料 2 に基づき、日本工学会会員学協会に対する「科学技術人材育成・教育支援に関する情報提供のお願い」について、コンソーシアム HP 記載内容の更新報告のあった学協会を確認した。報告のあった学協会は次のとおり。(一社)色材協会、(一社)電気設備学会、(一社)電子情報通信学会、(公社)日本金属学会、(公社)日本航空技術協会、(公社)日本セラミックス協会、(一社)日本塑性加工学会、(一社)日本ロボット学会

2)部会 3 は以下「第 4 回世界エンジニアリング記念シンポジウムの企画案」による。

3. 話題提供

以下の二学会より人材育成に関する話題提供をいただいた。

1) 計測制御学会(SICE)

2000 年以降になり、温暖化ガス排出削減や自動運転などの社会的要求に対応している。学术界と産業界のニーズ、シーズの共有があまりうまくできていない印象がある。人材育成に関しては、年次大会が 2001 年からは英語での講演となっており、現在も海外も含めて活発に議論が行われている。計測制御エンジニアの資格認定、セミナー、プロセス塾、など人材育成に関する取り組みを行ってきており、現在は SICE 共創塾を開催している。若手技術者の学会参加が減少傾向で会員増加が重要である。

コメント：学と産では知財、守秘義務の問題もあり、連携しづらいところもあるのではないかな。

2) 日本建築学会

日本建築学会には、司法支援建築会議、住まい・まちづくり支援建築会議、子ども教育支援建築会議の 3 つの支援会議がある。3 つ目の支援会議は子どもの住まい・まちづくり教育に関わる、教師・教育関係者、公的機関、社会教育機関、NPO、あるいは個人の活動を支援している。2020 年には子ども教育事業部会、学校教育支援部会が立ち上がり、子どもへの教育強化に取り組んでいる。

コメント：小学校、中学校でどのような教育しているかに興味がある。ほかの学協会にも参考になると思う。

4. 2022 年度人材育成コンソーシアム活動の進め方

1) 第 4 回世界エンジニアリング記念シンポジウムの企画案

部会 3 に関連して標記シンポジウムの企画に関して議論がなされた。産業界での人材育成が提案され、賛同が得られた。

コメント：・若い人がどのように育っていくかを知ることは重要である。

- ・産業界の人材育成の人を連れてくる必要があると思われる。
- ・グローバル人材育成の理論的な取り組み、育成と評価を知りたい。
- ・20 代で技術士を取るような人にも話題提供していただきたい。

5. その他

・次回は電気学会の人材育成の取り組み、経済産業省からの話題提供をいただくこととした。(土木学会は次々回)

- ・次回コンソーシアムは 2022 年 10 月ころとした。

以上